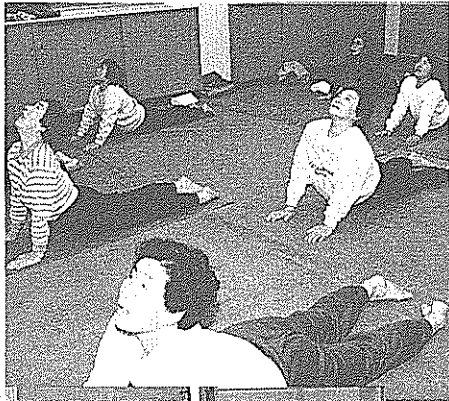


われら サークル仲間 健康体操で リフレッシュ

今回は関公民館で活動している健康体操のグループを紹介합니다。

昭和六十年に公民館活動として始まった健康体操のグループの練習日は毎週木曜日の午後七時三十分から。このグループのために健康体操指導員法を勉強し資格を取ったという、みんなの人気者、浜田麗さんを講師に、メンバー十人が毎回楽しく運動しています。

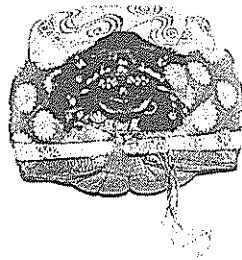


このグループの行う体操は「生命の貯蓄体操」。自分の体の悪いところを自分の力で治していくというものです。メンバーの入会のきっかけも「肩が凝るとか手がしびれるといった悩みがあったので」とのこと。

「この体操をしていなければ今ごろ体がどんなになっていたことか。週一回の練習日待ち遠しいです」と元気に話してくれました。

このコーナーでは、各地区の公民館で楽しく活動している皆さんを紹介しています。

これはなんでしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

■しめきり 3月20日

■あて先 〒783 南国市大浦甲二三〇一 南国市広報委員会 親子クイズ係

■賞品 正解者の中から抽選で5人に図書券を進呈

◎第238回親子クイズの答えは、手袋でした。

第238回当選者発表(敬称略)

(応募総数26通)

秦泉寺雄三(岡豊町)

藤田直子(大浦)

吉岡鮎子(領石)

井上艶(稻生)

北村むつ(大浦)

お便りの中から皆さんの思い出の一部をご紹介します。

◆小学生のとき母に毛糸で編んでもらい、学校の帰りに友達と手袋人形を作って遊びながら帰ったことを思い出します。

◆中学生のころ友達の間で手編みの手袋がはやっていて、私も初めて手袋を編みました。しかし、できあがってみるとグローブのような大きな手袋になり、友達と大笑いしたのを覚えています。

◆1歳6カ月の娘が今手袋が大好きです。小さな手袋をひもでつなげて肩からつるして遊んでいます。

◆中学生のころ、友達とよくいろいろな色で手袋を編んだことが思い出されます。

◆このごろ朝早く登校するのに寒くて、手袋をして登校しています。

◆すぐく寒いときは手袋をしても寒いです。でもやっぱりすぐく役立ちます。今はしてない人がめずらしいくらいに思えます。いつも考えることは、手袋は誰が発明したんだろう?ということですね。

